

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町 6-1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093(571)1124
FAX 093(583)4924

教育目標

二十一世紀を切り拓く
未来のスペシャリストを目指す
『志高き自律心と
思いやりの心を持った
はつらつ倉工生』の育成



校長
平野 孝幸

北辰会の皆様には、日頃から物心両面にわたり本校教育活動にご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。私儀、本年四月一日付けで、山田晴隆校長の後任として、戸畑工業高校から着任いたしました。平野でございます。本校には平成十八年四月から二十一年三月までの三年間、教頭として勤務させていただきました。その間、役員をはじめ会員の皆様からご厚情を賜り、感謝と感動あふれる日々を過ごさせていただきました。改めて感謝申し上げます。このたび、図らずも本校で新しい時代を創造し、担って行く倉工生の教育に携わることができ、大変光栄に、また誇りに思っております。本校の充実発展のため、全身全霊で取り組んでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

四月一日の着任時においては、篠崎門をくぐるときのオブジェ、左手に同氏の壁画『一本の矢』と満開の桜を迎えられながら、玄関で職員に迎えられ、大変感激したところでありました。五年ぶりの倉工ということ、早速校内を回って見たところ、グラウンドでは野球部、サッカー部、体育館ではバスケットボール部の生徒たちから元気でさわやかな挨拶をいただきました。また、四月七日の着任式では、全生徒から大きな歓迎を受けた後、校歌（北九州の活天地）、第一応援歌「篠崎の里（篠崎の里に秋立ちて）、第二応援歌「紅の旗（攻めよ逸れよ我が健児）」をともに歌いながら、胸が奮い立つような倉工の歴史と伝統、そして「質実剛健」

倉工健児を感じ、何ともいえない興奮を覚え、本校に着任できたことへの感謝の気持ちと喜びとを実感したところです。さて、本校は、これまで地域に信頼され、我が国を代表する工業高校として創立以来百十五年の輝かしい歴史と伝統を刻んできました。また、平成十九年度の学科再編時には実践的な技術者育成型高校として位置づけられ、成果を上げてきました。今年度は、ものづくりを通して校訓「真理探究」「質実剛健」「勤労努力」の精神を育むことを基本理念とし、教育目標を「二十一世紀を切り拓く未来のスペシャリストを目指す」「志高き自律心と思いやりの心を持った はつらつ倉工生」の育成」と定め、以下の四つの重点目標を掲げて、教育活動に取り組んでいます。

- (一) 授業の心得を定めた授業五則に基づき、規律正しい授業の確立と基礎学力の向上に努め、自ら学ぶ生徒を育成する。
- (二) 世界にはばたく未来のスペシャリストとしての基礎的知識と技術・技能を習得させるとともに社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育成する。
- (三) 人権尊重のもと高い規範意識と自尊感情を有し、人や自然を大切にすること豊かな倉工生を育成する。
- (四) PTA・同窓会や地域と積極的に連携し、社会に貢献し愛される安全・安心な学校づくりを推進する。

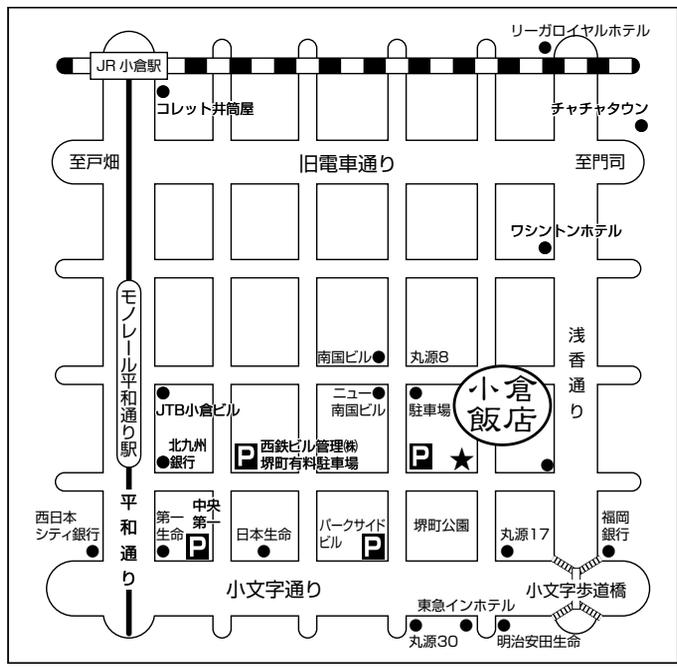
今後ますますグローバル化が進展する中、これまでの輝かしい歴史と伝統を継承しながらも新たな伝統を築き、国内のみならず世界にも打って出る人材育成を目指して、全教職員一丸となつて取り組んで参ります。北辰会の皆様には、母校の更なる充実・発展のため今後とも格段のご支援とご協力をお願いいたします。北辰会の更なる発展と、会員の皆様のますますのご活躍と御健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

H26年度 北辰会総会

(当番幹事 H3年卒)
(当番幹事 H15年卒)

日時 平成26年5月25日(日)
場所 小倉飯店
北九州市小倉北区堺町1-8-14
TEL (093) 521-8631
時間 ○受付 14時より
○総会 15時より
○懇親会 16時30分より
会費 ￥5,000

今年、米大リーグ・ニューヨークヤンキースに移籍した田中将大投手が駒大苫小牧高校に在学中、同校野球部監督を務めた香田誉士史氏（現西部ガス硬式野球部コーチ）に講話をお願いします。田中将大投手について、どのようなエピソードが語られるのか楽しみです。



北辰会入会式 卒業生196名入会

去る二月二十八日、平成二十五年度卒業生一九六名の入会式が厳粛に挙行されました。年未迄に就職希望者全員が内定し、卒業時には一九六名全員の進路が決まり、晴れやかに入会式を迎えました。心から歓迎すると共に、胸を張って社会に巣立って欲しいと願っています。創立以来の卒業生総数は、二万一千八百七十五名となりました。関東支部、近畿支部代表も来校し、両地区に就職、進学する生徒との懇談会が持たれました。この懇談会は、故郷を離れ、慣れない土地に就き、希望を持ちながらも一抹の不安を抱いている新会員に少しでも安心感を持って貰いたい為開催しています。今年も関東地区二十四名、近畿地区二十名と合わせて二十五名と増えています。関東支部では、五月十七日(土)には田中誠一先生を招き、新人歓迎会が開かれる予定です。尚、四月八日(火)の新入生の入学により在校生会員は、



教育振興基金につきましては、多くの皆様からご協力を賜り、毎年母校・後輩への支援が行われています。平成二十五年度は、四八五件の同窓各位・団体より合計二百二十二万七千八百六十四円の貴重な浄財を賜りました。皆様からの貴重な浄財は、平成二十六年度の教育振興基金の活動にあてられます。ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。母校にとつて、この教育振興基金はかけがえのない存在となっております。山田奨学会・科学研究奨学会創設の基となった山田晁先輩・倉田主税先輩の意思を継承する大きな存在となっております。尚、笹原裕明教育振興基金理事長より、ご母堂ご逝去の際の香奠返しに替えて、多額の寄付を賜りました。厚く御礼申し上げます。

- ◎平成二十五年度の事業内容は次のとおりです。
- 一、山田奨学会への給付
- 一般奨学生 一名 十二万円
- 二、科学研究奨学会への給付
- 揭示教育を推進するためのデジタルサイネージシステム導入(三年計画の最終年)し、リアルタイム配信を可能にした。 五十万円
- 三、部活動の奨励
- 陸上部、ものづくり部、メディア部、吹奏楽部 五十万円
- 四、国際研修事業
- カナダ(バンクーバー)アメリカ(シアトル) 十日間 田仲寿季君(陸上部・昨年インターハイ出場)を派遣した。 二十八万一千八百四十円
- 五、予備費
- ロボット競技全国大会 七万円
- 陸上部インターハイ出場 二万円
- 次世代リーダー養成塾派遣 十万八百四十円
- 陸上部団体出場 一万円

学校だより

陸上部

福岡県高等学校新人男子
駅伝北部ブロック大会
総合4位

全九州都市対抗陸上競技
選手権大会
110mH 1位
藤井琉成(電子二年)
走幅跳 2位
黄檗快斗(電気三年)

バレーボール部

福岡県高等学校新人大会
北部ブロック大会
リーグ戦 6勝1敗
優勝

北九州市A・B・C・D
級大会

ソフトテニス部

豊前高校生新人大会
準優勝

清末将史(工化二年)
椎野修平(電気二年)

ラグビー部

福岡県高等学校新人大会
兼九州大会県予選
<予選リーグ>
小倉工業57-0八幡
小倉工業27-12明治学園

決勝トーナメント
一回戦
小倉工業24-10合同A
二回戦
小倉工業22-7合同B
決勝
小倉工業17-24北筑

男子D級シングルス
優勝
安森 翔(電気系一年)

トーナメント戦2位
(注)
合同A(中間・自由ヶ丘)
合同B(福岡西陵・早良)
第15回九州高等学校
10人制大会

<予選リーグ(Cパート)>
小倉工業53-7東海大付
属熊本星翔
リーグ戦Cパート2位
<決勝トーナメント
(2位グループ)>
一回戦
小倉工業25-7錦江湾
二回戦
小倉工業29-12臼杵
決勝戦
小倉工業27-14美里
2位グループ優勝

吹奏楽部演奏会を終えて

本年二月八日の第八
回定期演奏会が開催出
来た事に感謝いたしま
す。
併せて、広告・寄付
等で北辰会の方々をは
じめ学校関係者等ご協
力頂きました多くの皆
様、またご来場を頂き
ました方々に重ねて心
からお礼申し上げます。
定演は部員二十名で
三部構成での演奏会
でした。
諸先輩方には、まだ
まだ未熟な演奏でお聞
き苦しいとは思いますが、生徒も日々努力し
ていきますので、今後に
ご期待いただければと
思います。

現在の部員は二
年生三名三年生十
名で総員十三名で
す。一年生が最低
十名は入部してい
たいと思いま
す。
最後にになりました
が、吹奏楽部を
教員・PTA・O
B会が一体となっ
てバックアップし
たいと考えていま
すので、北辰会の
皆様方のご支援と
ご協力をよろしく
お願い申し上げま
す。
吹奏楽部OB会事務局
福井一憲
(昭和五十年機械科卒)



福岡県立
小倉工業高等学校吹奏楽部
第八回定期演奏会
午後一時三十分開演
大ホールにて
入場無料

台湾・嘉義農林

昭和六年夏甲子園初出場
準決勝戦で小倉工業と対戦

今年二月、台湾で公開さ
れた映画「KANON」(嘉
農)が、現地では大きな話
題となっている。
この映画は、日本が台湾
を統治していた時代、台湾
の嘉義農林学校(嘉農)が
昭和六年第17回全国中等学
校優勝野球大会(全国高校
野球選手権大会の前身)で
初出場準優勝し、台湾野球
の歴史に大きな功績を残し
た史実を映画化したもので
ある。

嘉義農林は日本人、台
湾人(漢人)、先住民の「混
成」チームだったが、監督
の近藤兵太郎氏は差別せ
ず、「先住民は足が速い。日
本人は打撃が強い。日本人
は守備にたけている」と、
それぞれの特徴を生かして
鍛えたという。

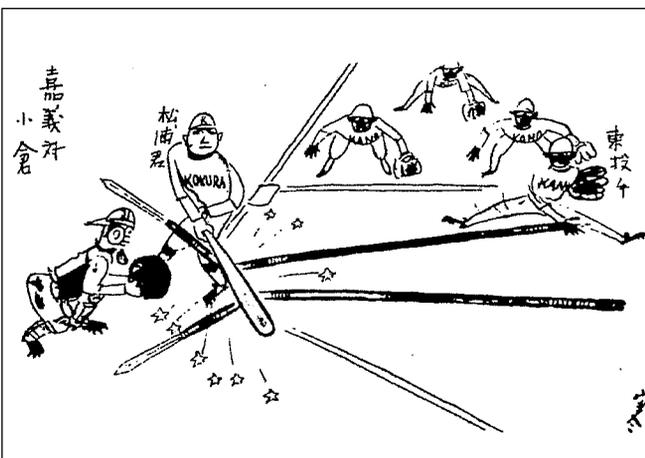
嘉義野球部は、昭和六年
夏初出場、昭和八年夏、昭
和十年春・夏、昭和十一年
夏と計五回出場している。
その中で小倉工業は、嘉
義農林とは二度対戦してい
る。

一度目は昭和六年夏の大会で、その時は準決勝戦で
対戦し、2-10で敗れている。
二度目は昭和十一年夏の
大会一回戦で対戦し、3-
4で敗れている。(以下は
小倉工業高校百年史から)。
「五年ぶりに俊足で鳴らす
台湾代表嘉義農林と対戦。
嘉義農林は四度、小倉工
は五度甲子園へ出場すると
いういづれ劣らぬ強豪であ
る。嘉義は伝統の打撃と快
足を本年も依然得点の技
能として備え、かつ守備は
強力なる東、児玉両投手が

一手に引き受け
ている。
一方、小倉工
業がサウスポー
竹中の正確なる
コントロールと
これを生かす投
球術はよくその
本領を発揮し、
竹中投手唯一の
弱点である体
力の不足を技術
で補っている。
バックの守備と
攻撃は玉井を中
心としてガッチ
リ組んだところ
は打、走、守の
三拍子そろって、ここに洗練されたところ
がある。嘉義の恐るべき
は小倉工業の柔よく剛を制す
といった技の巧みさと
チームワークであるが、小
倉工業の警戒すべきは東投手
の特殊の投球にある。その
上さらに恐るべきは嘉義の
進むを知って退くを知らざ
る底知れぬファイティング
スピリットであろう。この
西日本の両古豪の対立は好
戦たることは想像に難くな
いが、勝敗の帰趨は俄に断
じ難い」と戦前の予想はま
さに伯仲。小倉工業は今度こ
そはと嘉義の足を警戒、慎
重に戦いを進めたが、これ
が却って裏目に出て自らの
エラーを誘い惜しくも試合
を逸してしまった。」

日本では、三月七日大阪
市内で始まった「大阪アジ
アン映画祭」のオープニン
グで上映されている。
今後、日本でも一般公開
されることがあるのではと

血戦の武者振り
前年の優勝チーム、松山を最も苦しい
た嘉義農林の東投手の再現は、恐らく十万人観衆の熱い期待の
ひとつであったろう。案に違わずアンダー・スローの楯の襷先
で、咽喉を覗くような突きの手、これと引込んだ小倉工業
勢の中でも、松浦三聖手が真向に打ちおろした二本の安打で、
味方の得点全部に貢献した武者振りを思う「場巻三」アサヒ
スポーツ第22回全国中等学校優勝野球大会特別号から



はたち会(昭和20年卒)

昭和20年卒業の皆さんが
今年米寿を迎えるに当たり、
10月8日記念の同期会を開
催します。
学校で記念撮影をし、午
後から食事をします。
問い合わせ 福屋末次郎



五十年会新年会のお知らせ

二〇一五年一月三日(土)
or 一月四日(日)
集合場所、時間は後日決定
後連絡します。
◆連絡先
あまぐりファクトリー
田中知之
〆〆九三二五一一八二二二
(夕方6時以降)
また、二〇一六年の新年会
には担任の先生方をお招き
して催したいと思っておりますので御協力宜しくお願
い申し上げます。

北辰会費納入のお願い

北辰会活動にご協力頂い
ております同窓の皆様は大
変感謝申し上げます。
北辰会を維持していく礎
は年額二千円の北辰会費で
す。
厳しい社会情勢の昨今大
変恐縮ではございますが、北
辰会の健全な活動の基盤であ
ります「年会費」の納入を
宜しくお願い申し上げます。
併せて教育振興基金へのご
協力も重ねてお願いいたします。

名簿改訂のお知らせ

同窓の絆である名簿の改
訂を五年ごとに行っていま
す。次の改訂は平成二十八
年二月に発行いたします。
調査及び印刷は検討の結果、
前回同様実績豊富な
「小野高速印刷(株)」にお願
いしました。
正確な名簿の出版を目指
して、今年度より調査のハ
ガキが皆様に届きます。
詳しく記入の上返信して
下さい。
皆様のご協力をお願いし
ます。

教職員の異動

- 【退職】
- ▽山田 晴隆(校長)
- ▽森 和茂(国語)
- ▽前川 暁(国語)
- ▽中村 達志(保健体育)
- ▽坂田 浩(電気)
- 【転出】
- ▽千々和柳毅(事務)
- ▽八幡南高校へ
- ▽古谷 浩伸(機械)
- 田川科学技術高校へ
- ▽多田 義文(保健体育)
- 小倉南高校へ
- ▽吉留 清治(保健体育)

小倉東高校へ

- ▽寺尾 和彦(機械)
- ▽戸畑工業高校へ
- ▽片岡 健(機械)
- 博多青松高校へ
- ▽石田 歩(電子)
- 苅田工業高校へ

小倉聴覚特別支援

- ▽新規採用
- ▽甲木 知(保健体育)
- 田川科学技術高校より
- ▽東山 陽治(機械)
- 八幡工業高校より
- ▽池田 佳史(機械)
- 新卒
- ▽大津 秀一(電気)
- 戸畑工業高校より
- ▽岡田 直樹(電気)
- 新卒
- ▽木岡 優子(電子)
- 戸畑工業高校より
- ▽浅田 修平(工業化学)
- 新規採用